



■クラブ創立：2000年1月13日
 ■例会日：第1・第3水曜日（12：30～13：30）
 ■例会場：中部コミュニティセンター
 TEL0475-73-3337 FAX73-4360
 ■事務所：〒299-3251
 大網白里市大網450-6 ユアサビル2階
 TEL0475-70-0200 FAX70-0222
 ■会長：小倉 光夫 幹事：石田 英世
 ■広報・公共イメージ向上委員会
 委員長 大越 将司・会報担当 石田 英世

2022年6月29日(水)

第23巻 第 22号

通巻第987

<http://www.oamirotary.com>
 E-mail rc@oamirotary.com



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

本日の例会

点 鐘 会長 小倉 光夫
 ソング それでこそロータリー
 会長挨拶 会長 小倉 光夫
 幹事報告 幹事 石田 英世
 プログラム 引継夜間移動例会
 はせ川にて

ニコニコBOX

清宮 満巖 会員

小高さんより勝ちました。

例会日	6月22日	6月8日
会員数	30	30
出席	18	19
欠席	12	11
MU	0	2
免除	5	2
出席率	76.67	76.67

会長挨拶

小倉 光夫 会長



みなさん こんにちは。

本日は本例会場での小倉・石田年度最後となります。1年前はコロナ禍でもあり、会長所信表明は「退会者ゼロ」を最大の目標に掲げました。

あれから1年経ち、1人の会員も欠くことなく、更には本日オブザーバーとしてお越しいただいております「わたのはら法律事務所 渡辺様」という新しい

仲間も増える事となりました。

クラブの歴史からすれば小さな1歩かもしれませんが、私からすれば三段跳びくらい違いがあります。

この1年 皆様には多大なご協力を頂きました。各委員長方には大変感謝しておりますが、特に四之宮プログラム委員長には高齢にも関わらず、このコロナ禍でいろいろ調整頂き大変感謝しております。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。この経験を次のプログラム委員長に引き継いでいきます。

次週は引継ぎ例会となります。今年度最後の例会となりますので大勢の出席をお願いし、本会場での最後の挨拶とさせていただきます。

クラブ協議会

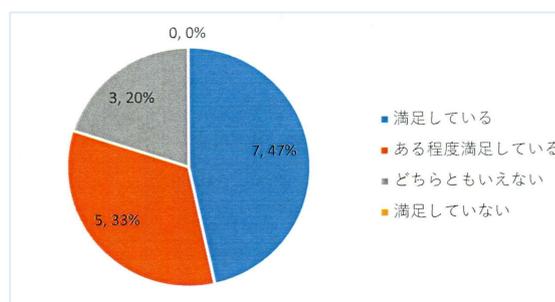
司会進行 小倉 光夫 会長

会員満足度アンケート集計結果

アンケートにご協力頂きありがとうございました。

さまざまな意見を頂き、今後のクラブ運営の改善、向上の参考になればと思います。紙面の都合上、アンケート結果の全てを掲載することができませんがご理解下さい。

1. 本クラブの会員であることにどのくらい満足しているか。



千葉県ロータリーマップのご案内

今年度、当委員会より職業分類のデータベース化に伴い、2790 地区内のロータリアンの皆様の事業所のご紹介をお願い致しましたところ現在までに約 140 店舗の申請を頂きました。ご協力大変感謝申し上げます。

この千葉県ロータリーマップにつきましては、2022-23 年小倉ガバナー年度でも継続して進めて参る予定でございます。

年度の終わりではございますが、これらのデータをホームページにまとめました。

2790 地区のホームページからもリンクをし、アクセスしやすくなっております。

HP では検索機能もあり、ご利用しやすくなっておりますので、是非、貴クラブ会員の皆様にご紹介し、クラブやグループを越えた活動や親睦にご活用下さいますよう、ご案内申し上げます。また、小倉年度には、クラブ事務局から簡単にクラブ会員様の事業所の登録もできるようご案内致しますので、引き続きご協力の程、宜しく願い申し上げます。本事業についてのご意見、ご提案、など幅広いご意見も同時に募集しておりますので、ご理解ご協力の程、何卒宜しくお願い致します。



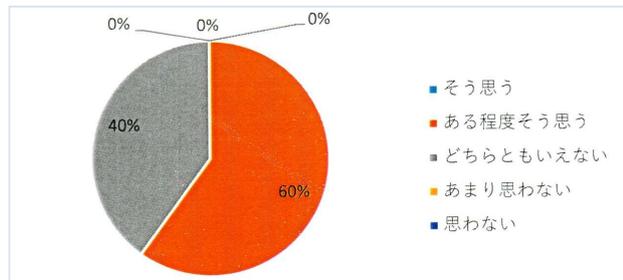
千葉県ロータリーマップ

<https://rid2790.jp/maps/index.php>

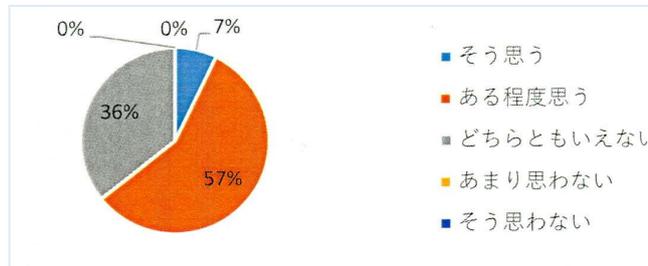
ID: rotary

PAS: 2790

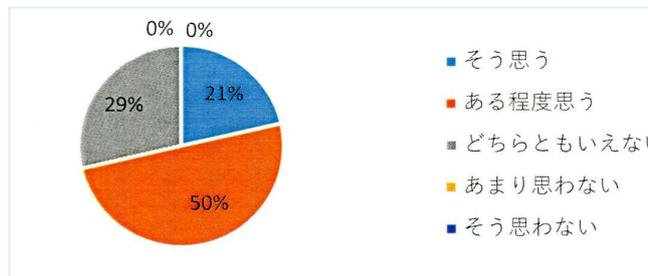
2. クラブは新会員がすぐに打ち解けられるよう配慮している。



3. ロータリーを通じて地域のために貢献できる。



4. ロータリーを通じて世界のために貢献できる

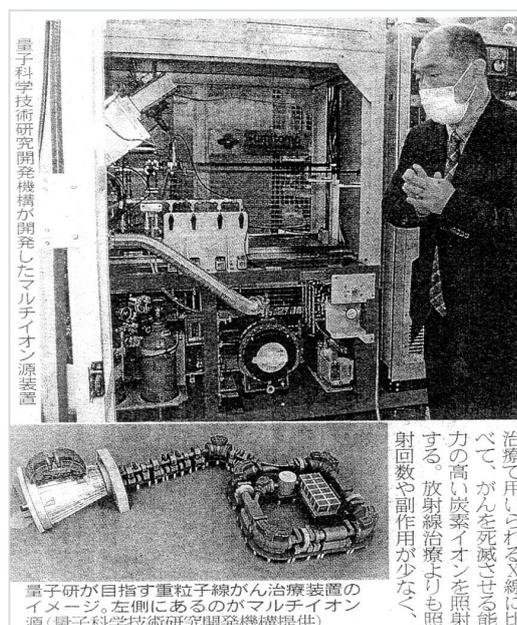


ご 投 稿

四之宮 由己 会員

2022年6月1日(水) 千葉日報掲載

がん治療に「マルチイオン」世界初 部位で切り替え効果



量子科学技術研究開発機構が開発したマルチイオン源装置
量子研が目指す重粒子線がん治療装置のイメージ。左側にあるのがマルチイオン源(量子科学技術研究開発機構提供)

量子科学技術研究開発機構(千葉市稲毛区)は、がんを手術で切除せずに、放射線で治療する「重粒子線がん治療」をより高度にするため「マルチイオン源装置」を世界で初めて開発したと発表した。がんの部位やステージによって使用するイオンを変えて治療効果を高めることができるほか、周囲の臓器への影響や副作用も最小限にできるとしている。同機構は今後、運営する QST 病院で臨床試験を始め、効果を検証する。

26 年度運用へ臨床試験

重粒子線治療は、放射線治療の一つ。通常の放射線治療で用いられる X 線に比べて、がんを死滅させる能力の高い炭素イオンを照射する。放射線治療よりも照射回数や副作用が少なく、肺がんは最短 1 日で治療を終えられるという。同機構の平野俊夫理事長は完成発表会で「重粒子線治療は深部のがんも切らずに短期間で治療ができ、体にも優しい。マルチイオン源の開発は治療のために割く時間が減り有意義な人生を実現する切り札になる」と期待した。